

平成30年度 第34回北海道高等学校新人陸上競技大会運営要領

9月19日(水)1日目	9月20日(木)2日目	9月21日(金)3日目
開 門 6:40	開 門 7:00	開 門 7:00
本競技場開放 7:00~8:50 (開始式中は中断)	本競技場開放 7:00~8:50	本競技場開放 7:00~8:50
開始式 8:00	専門委員会議 8:00	専門委員会議 8:00
役員打ち合わせ 開始式終了後	主任打ち合せ 8:15	主任打ち合せ 8:15
競技開始 9:20	パート打ち合せ 主任会議終了	パート打ち合せ 主任会議終了
競技終了予定 16:00	競技開始 9:20	競技開始 9:20
	競技終了予定 16:15	競技終了予定 15:25

- 1 トラック競技は、すべて電気時計（写真判定）とする。腰ナンバーカードを使用する。
- 2 確認・出発合図のため、及び、写真判定装置等にトラブルが発生したときのために、決審計時員を配置しビデオカメラで撮影する。スタートの合図要領は下記の通り
写真判定員 → スターター → 出発係・監察員 → アナウンス → スタート
- 3 トラック競技・フィールド競技とも記録集作成のため、全競技者の記録をとる。
- 4 トラック競技・フィールド競技とも競技者係が競技場所まで競技者を誘導する。
- 5 腰ナンバーカードは、競技者が自分ではずし、競技者係補助員に戻す。
- 6 長距離種目（3000m以上）は、胸・背・腰にレーンナンバーカードを使用する（ナンバーカードは競技者係で配布）。また、4×400mRの2, 3走者は腰ナンバーカードを左右に、4走は右腰に使用する。
- 7 記録の掲示は、正面玄関横の掲示板に掲示する。また、道高体連陸上専門部HPに記録を掲載する。
- 8 審判員のフィールドへの出入りは、原則としてコーナーとする。直線を横切らないこと。
- 9 当該種目出場競技者以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。また、役員以外のメインスタンド前（本部前）の通行を禁止する。役員においても unnecessaryな通行はしないこと。
- 10 主任は、競技に必要な記録用紙・筆記用具等は本部で、その他の用具は用器具庫で用器具係より受け取る。なお、小器具等の搬出入は各担当競技役員で行い、用器具係に依頼するものは競技場所に整理・整頓して置くこと。
- 11 競技運営については、担当総務員を中心に審判員同士の連携をはかり、スムーズに行うこと。
- 12 大会当日、本競技場での朝の投てき練習は、当日実施する種目のみとする。それ以外の種目については認めない。ただし、ハンマーは禁止とする。砲丸の練習についてはサブトラックを使用する。
- 13 やりの検定は、100mスタート側器具庫において、8:30~9:00に実施する。その際、「やり検査申請書」とやりを持参すること。
- 14 競技場内においては、審判団以外のトランシーバーは一切使用を禁止する。（大会運営に支障をきたすので厳禁する。）
- 15 関係用紙の流し方について
総務、審判長、記録情報、番組編成、アナウンサー、競技者係、投擲審判、跳躍審判はオンラインでつながったパソコンを使用。
(1) 競技者係よりスタートリスト・試技リストを流す各部署について
①トラック競技
競技者係 → 出発係・決審計時員・監察員（風力計側員・周回記録員・競歩審判員） → スタート審判長
②フィールド競技
競技者係 → 跳躍審判員・投擲審判員・風力計側員
(2) 各ラウンド（準決勝・決勝）のスタートリスト・試技リストを流す各部署について
①トラック競技
記録情報処理員 → 番組編成員 → 競技者係・トラック審判長・トラック総務員・掲示
②フィールド競技
記録情報処理員 → 番組編成員 → 競技者係・各審判長（跳躍審判長・投擲審判長）
・各総務員（跳躍総務員・投擲総務員）・掲示
(3) リザルトを流す各部署について
記録情報処理員 → 各審判長（トラック審判長・跳躍審判長・投擲審判長）
・各総務員（トラック総務員・跳躍総務員・投擲総務員）・表彰係・掲示 ※アナウンサーは紙が必要か要確認
- 16 フィールド競技における決勝出場者の選手紹介について
跳躍・投擲各総務員が競技開始前にアナウンサーに連絡して、決勝出場者の紹介を行う。ただし、女子三段跳・ハンマー投については、トップ8の紹介を行う。